平成20年度 各会計予算 上半期執行状況

税務財政課 財政係 ☎ 74-3003

平成20年度上半期（4月1日～9月30日）の執行状況を
お知らせします。

今年度、後期高齢者医療制度創設により、後期高齢者医療特別会計がスタートしました。しかし、昨今の新聞紙上などの報道を見ますと、制度の不備が指摘されるなど批判が集中しているのが現状であります。したが

って、今後の動向に注視しながらの会計運営が続くことが予想されます。

一般会計においては、昨年度からサミット開催準備予算費が計上されておりましたが、7月にサミットが開催され、このため、歳出の執行率が昨年を若干上回っています。今後、厳しい財政状況を踏ま

え、歳入歳出の執行面からの歳入確保又は歳出削減に努めていくこととしています。町の財政状況について更なる理解を深めていただき、よりよい町財政の運営にご協力をお願いします。内容などについて、ご不明な点がありましたら税務財政課財政係へのお問い合わせください。

【一般会計】

予算現在額79億9、626万2千円に対し、歳入44・5%、歳出38・9%の執行率で歳入が歳出を5・6%上回っております。

【国民健康保険特別会計】

予算現在額15億8、054万2千円に対し、歳入33・2%、歳出41・4%の執行率となっております。例年同様、保険給付費の伸びが高く、歳入不足額を基金運用費で補っています。

【公共下水道事業特別会計】

予算現在額12億9、797万5千円に対し、歳入40・6%、歳出59・3%の執行率となっております。

います。下水道工事などに係る国庫補助金、起債などが下半期の収入となることから、歳入不足額を基金運用で補っています。

【老人保健特別会計】

予算現在額2億314万1千円に対し、歳入77・4%、歳出88・9%の執行率となっております。この会計は、後期高齢者医療制度創設により役割を終えています。経過措置として一定期間会計が存続することとされています。

【介護保険特別会計】

予算現在額7億4、049万1千円に対し、歳入45・0%、歳出37・3%の執行率となっております。この会計は、要保護（要支援）への介護サービス給付費に係るものです。

【簡易水道事業特別会計】

予算現在額1億1、036万7千円に対し、歳入45・7%、歳出44・7%の執行率となっております。歳入が多いのは一般会計からの繰入金によるものです。

この会計は、洞爺地区の給水事業に係るものです。

【後期高齢者医療特別会計】

予算現在額1億3、398万8千円に対し、歳入35・4%、歳出21・7%の執行率となっております。この会計は、制度改正により今年度新たに創設されたものです。

【一時借入金・基金運用】

一時借入金は、経理資金が不足する際に一時的に銀行等から借り入れ、年度内に償還するお金です。

また、利子の軽減を図るため、基金から一時的に借り入れます。

【地方債】

地方債は、投資的事業（道路の整備・建物の建築等）に充てるために借り入れ、年度を越えて償還するものです。